

2016年11月28日

DPS 主要拠点の城東センターを移転・拡張 小ロット・短納期 DPS や関連 BPO の受託体制を強化

情報管理ソリューションのトッパン・フォームズ株式会社（以下、トッパンフォームズ）は、生産能力の向上を目的にデータ・プリント・サービス（DPS）の主要拠点である城東センター（東京都江東区）を移転し、生産エリアを約 2000 坪拡張することで首都圏における DPS の受託機能を強化します。本日 11 月 28 日（月）に開所し、2017 年 1 月より本格稼働します。

本移転により生産能力が約 70% 増強されるとともに、レイアウトの再構築や新たな資材管理方法の導入などによる業務効率化、DPS に関連するビジネスプロセスアウトソーシング（BPO）の業務領域拡大などさまざまな効果を見込みます。

【背景】

城東センターは当社が国内トップシェア（当社調べ）を持つ DPS の主要拠点の一つであり、以前より小ロットや短納期での納品が求められる DPS 業務を中心に生産活動を行っています。近年顧客ニーズの多様化により小ロット業務のさらなる増加とともに、従来お客さまが自社設備で行っていた印刷関連業務をすべて当社にアウトソースする「一括アウトソーシング」業務もお客さまの保有設備の老朽化などを背景に年々増加の傾向にあります。これらのニーズに対応するために従来の城東センターと、関東圏の小規模拠点を集約し移転・拡張を行うことで受託体制を強化します。

また 360° カメラ監視システムや各種生体認証の導入などによるセキュリティ面の強化や免震構造をはじめとした大規模自然災害に備えた BCP への対応力強化、従業員向けの共有設備やスペースの充実などにより働きがいのある職場環境づくりにも取り組んでいます。



大型物流施設の 2 フロアに入居（外観）



各種セキュリティ設備を導入
（左：フラッパーゲート、右：静脈認証）

【今後の展開】

トッパンフォームズは製造拠点の集約・再編を進め多様化する顧客ニーズに対応し、付加価値の高いサービスの提供を行います。また「ペーパーメディアとITの融合」に対応するアウトソーシング基盤の整備を進め、印刷のみのサービス提供や電子通知だけのサービス提供ではない、ハイブリッド化したアウトソーシングサービスを確立することにより、サービスのさらなる高付加価値化を推進し、お客さまの業務効率化や中核業務へのリソース集中に貢献します。

【城東センターの概要】

拠 点 名：トッパン・フォームズ株式会社

トッパン・フォームズ・セントラルプロダクツ株式会社 城東センター

所 在 地：東京都江東区

敷地面積：31,998 m²（約 9,679 坪、施設全体）

延床面積：16,334.24 m²（約 4,950 坪）

以 上

※ 「DPS」は、トッパン・フォームズ株式会社の登録商標です。

本ニュースリリースに関するお問い合わせ先

トッパン・フォームズ株式会社 広報部 TEL:03-6253-5730